

保護者 各位

新居浜市立泉川中学校  
校長 久保 善嗣

### 令和5年度 学校評価アンケート集計結果の報告

昨年末は、ご多用のところをアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。保護者・生徒及び教職員のアンケート結果をまとめましたので、お知らせいたします。この結果を真摯に受け止め、来年度の教育活動を充実させていきたいと考えております。なお、裏面に学校評価の分析を載せております。

【回答者数】 保護者181名 生徒249名 教職員17名 (令和5年12月実施)

【評価項目に対する回答について】

○評価… 評価項目を、4：そう思う、3：ややそう思う、2：あまりそう思わない、1：そう思わない、の4段階で評価したものの平均値。下段は昨年度の数字です。

◎=0.3ポイント以上アップ ○=0.2ポイント △=ポイントダウン

No.	評 価 項 目	評 価		
		教職員	保護者	生徒
1	お子さんは充実した学校生活を送れている。	◎3.6 3.2	3.4 3.3	3.6 3.5
2	お子さんは目標を持って学校生活を送っている。	◎3.3 3.0	3.0 2.9	△3.3 3.4
3	学校は、保護者、地域の願いに沿った学校づくりを進めている。	◎3.8 3.6	3.2 3.2	
4	学校からの情報（連絡文書等）は適切に提供されている。	3.4 3.3	3.2 3.1	△3.2 3.3
5	学校は、分かりやすい授業づくりに努めている。	◎3.5 3.3	3.0 3.0	3.3 3.2
6	地域の環境や人材が、教育活動に生かされている。	◎3.8 3.3	3.2 3.2	△3.4 3.5
7	お子さんの学力は向上している。	◎2.7 2.5	2.5 2.5	2.8 2.7
8	お子さんは計画的に家庭学習をしている。	2.8 2.7	2.5 2.4	△2.9 3.1
9	お子さんのあいさつはよくできている。	◎3.2 2.2	◎3.3 3.1	3.5 3.5
10	お子さんは、社会・家族のルールや学校の決まりが守れている。	◎3.1 2.8	3.3 3.3	3.6 3.6
11	子どものことについて、先生に気軽に相談できる。	3.1 3.2	◎3.3 3.0	◎3.6 3.3
12	学校は、いじめのない楽しい学校づくり・学級づくりに努めている。	3.4 3.4	3.0 3.1	3.4 3.4
13	学校は、同じ方針で生徒指導ができています。	◎2.9 2.5	3.1 3.0	3.6 3.5
14	先生たちは、お子さんをよく理解し、よさを認め、伸ばそうと努めている。	3.4 3.3	3.1 3.0	3.3 3.3
15	学校は清掃が行き届き、適切な環境になっている。	3.0 3.1	3.3 3.4	3.0 3.2
16	学校行事は、生徒にとって充実している。	◎3.6 3.1	3.3 3.2	3.6 3.6
17	部活動は、生徒にとって充実した活動になっている。	3.4 3.3	3.1 3.2	3.5 3.5
18	お子さんは地域のボランティア等に進んで参加している。	◎3.6 3.1	2.6 2.7	2.8 2.8
19	学校は、お子さんの生き方や将来の夢・希望について考えを深める教育活動を行っている。	◎3.3 3.0	2.8 2.8	3.2 3.2
20	お子さんは、思いやりの心を持って友だちに接することができる。	◎3.3 3.1	3.4 3.4	3.8 3.8
21	学校と地域が協働して行っている教育活動は、子ども・学校・地域にとって有益である。	◎3.6 3.1	3.4 3.4	3.6 3.6
22	学校は電子黒板やタブレット端末等の利用に積極的に取り組んでいる。	◎3.6 3.1	3.2 3.2	3.7 3.6

# 学校評価アンケート結果の分析について

新居浜市立泉川中学校

## 1 令和5年度 学校評価アンケート結果の分析

### ア 成果

令和4年度と比較し、ほとんどの項目で評価のポイントが向上した。今年度は、当初に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことで、自粛や中止としていた行事、各種活動が再開された。そのため、生徒や保護者、教職員、地域関係者が互いに連携や協働を行う場面が増加し、学校生活や生徒の様子がよく分かるようになった。多くの行事や活動が3、4年ぶりに実施することで、教職員やPTA役員、保護者や地域で、よく熟議して安全かつ充実した教育活動を目指した。その成果として、学校評価のポイントが上昇として表れてきたものと思われる。

学校運営協議会を通して、令和5年度泉川中学校のテーマを「関わる、つながる」とした。年度当初からこのテーマを心掛け、日常の学校生活や教職員による指導、支援、家庭や地域との連携・協働を進めてきた。生徒会活動でも今年度のスローガンが「HULA HOOP ～皆で創り出す仲間の輪～」に決定し、生徒自身も関わり合い、つながり合う仲間づくりを大切にしようとする機運が高まった。

- ・「生徒は充実した学校生活を送れている」について、ポイントが高い。多くの行事が実施できるようになり、生徒自身が主体的、積極的に活動できるようになった。またマスクの着用なく、互いに表情が見える環境になってきたため、円滑にコミュニケーションをとれるようになったと感じられる。
- ・「学校は地域とともにある学校づくりを進められている」「地域の環境や人材が、教育活動に生かされている」の項目は、教職員、保護者ともにポイントが高かった。教職員から地域の方々がとても協力的なので助かっているとの声が多くあり、来年度以降も連携・協働ができるよう努めていきたい。転入してきた教職員自身が地域との関係づくりを進めていくことが重要である。
- ・「生徒は思いやりの心を持ち、友人を大切にすることができているか」について、生徒のポイントがとても高く、安心して学校生活を送ることができていると感じられる。全体的に優しく穏やかな生徒が多く、学校生活の中で互いに良い影響を与え合っている。

### イ 課題

昨年度に比べ、多くの項目でポイントが向上した。一方で項目によっては、ポイントが低いものが複数あり、本校の課題だと感じている。

- ・「学力は向上している」について、教職員、保護者、生徒全てにおいてポイントが低い。生徒は小学校と比べ学習が難しくなっていると感じており、分からないからやりたくない諦めてしまう生徒もいる。また、学習の状況について保護者にしっかりと伝えていく必要があると感じている。「計画的に家庭学習に取り組める工夫をしている」についてのポイントも低いいため、家庭と連携して、ポイントを向上させる手立てを行う必要がある。
- ・「生徒のあいさつはよくできている」について、ポイントは高いものの、しっかりとあいさつできる生徒とできていない生徒の差が大きい。地域の方からはあいさつができるようになったとの評価を得ているが、誰に対しても場を踏まえたあいさつができる生徒を育てていきたい。
- ・「校内の環境美化に積極的に取り組んでいる」について、地域の美化活動に自主的に取り組もうとする生徒が多くいる一方で、日々の校内美化活動では、時間いっぱい清掃に取り組めていない生徒がおり、美化活動を大切にす機運の醸成が更に必要である。